

第107回スタディグループ分科会結果報告

運営委員長 深谷和章

(文責:平野)

1. 開催日時 2023年11月14日(火) 14:00～17:00
2. 開催場所 文京シビックセンター5F 区民会議室A(Zoomオンラインとの併用)
3. テーマ 情報通信技術(ICT)の進化と監査役
4. 発表者
 - リーダー 室 雅章氏 (株)ピカパカ 常勤監査役
 - メンバー 石井浩和氏 小原化工(株) 常勤監査役
 - 田島 洋氏 王子エンジニアリング(株) 常勤監査役
 - 久武昌人氏 アストマックス(株) 監査役
 - 山川 晃氏 三菱電機インフォメーションシステムズ(株) 常任監査役
5. 出席者 28名(会場リアル参加15名、Zoomオンライン参加13名)
6. 事前配布資料
 - ・当日の時間割、4社の発表内容とまとめの資料
7. 発表と質疑の内容
 - 1)全体の司会を山川氏が担当、リーダーの室氏がテーマ選定の背景などを説明した後、田島氏、石井氏、久武氏の順で各社の発表、休憩をはさんで室氏が自社の発表とまとめを行った。
 - 2)テーマ選定の背景
 - ・ICTを上手に活用することで、効率的、効果的に事業活動及び監査活動を実施しやすくなる可能性がある一方、情報セキュリティ、法規制対応等ICT課題に関する課題も増加している。
 - ・企業の健全な成長に寄与するためにICT関連での監査役監査の視点や監査方法等のヒントを開示したい。
 - 3)各社発表の主な内容
 - ① 会社の概要、機関設計
 - ② 使用しているIT関連ツール
 - ③ AIツールの社内での使用の有無
 - ④ ICTに対する監査役の向き合い方
 - ・企業の課題
 - ・ICTに係わる監査項目
 - ・監査実施内容
 - ・ICTの監査への活用
 - ・ICTに関連する今後の課題
 - 4)リーダーからまとめ
 - ①ICTに対する監査役の向き合い方の考察各社の発表項目の重要要素を取りまとめた結果、以下の考察に至った。

・ICTとは企業の経営に関わる重要なファクターであり、経営陣のICTに対する関わり方が今後の企業の継続的な成長の鍵になる。

・監査役は経営陣のICTに対する戦略、認識、リスク管理、インフラ整備に関するマネジメントが適切であり、経営事項として捉えているかどうかを問うべきである。

②監査役に求められるICTに関する向き合い方のまとめ

・自社のICTに対する戦略、リスク、施策に対する十分な認識を有すること、監査活動においてICTを上手に活用し、より効率的かつ効果的な監査活動を実施することが今後求められ、ICTに関するリテラシーが監査役にもさらに求められることが考えられる。

③監査懇話会の監査役職務確認書の該当個所について

2023年3月第13回改訂版19～20ページ「監査のツボ」の1)、2)

「監査役はコンピュータによる業務処理手順等を検証したり、データアクセス権限の付与を積極的に受けたりする必要がある」など。

5) 質疑、感想

①室さんが最後に言われた情報へのアクセスの重要性についてはまさしくその通りだと思う。

一方で、アクセスして知った情報は外に流さないようにするというバランスが課題になるのではないかと。私のケースで悩んできたのが、社外の役員との関係をどうするか。社外の監査等委員にも広く情報を共有していきたいが、一方で共有を受ける以上は、研修や自己チェックなども必要になる。実際には、社外役員の情報へのアクセス権限については制約せざるを得ない。その辺りについての工夫をされている事例があれば教えて欲しい。

②監査役監査の実務の中で、個人情報の漏洩防止など情報セキュリティ対策で特に留意すべき点、もしインシデントが発生してしまった場合にどう対応するのかなどの備えについて教えて欲しい。

③メンバー各社とも、内部監査部門では情報セキュリティに関する監査項目をそれぞれ設定していると思う。レベル感の違いはどうだったのか。非常に進んでいるところがあれば、それを私たちも活用させてもらえるとありがたい。自分の経験では、親会社から言われるものだけでなく、子会社でも自分たちの特性に合わせて情報セキュリティの項目を足そうとしてきた。

以上